



やました りゅうじ
山下 竜司さん

地域おこし協力隊。熊本県出身。アートで町おこしに取り組む。

アートに触れられる 場所をまちなかに

■朝比奈 九戸村の地域おこし協力隊の紹介で、山根でバーベキューをしたことがきっかけです。いいところだと思いつつうちに、山下さんや山根で活動されている八屋尚樹さんに、地域おこし協力隊として来ないかと誘われました。久慈は得意分野で活動できる企画提案型で協力隊を募集していて、自分の絵で知り合った皆さんと地域を盛り上げていければと思います、応募しました。



らDJ活動と作曲をスタート。制作したヒップホップの楽曲をアーティストに提供したり、ストリーミングサービスで配信したりしています。音楽活動をできる場所が少なく自分で作りたいたいと思い、任意団体「SPOT LIGHT」を立ち



令和7年新春座談会

芸術で町おこし



対談者
山下 竜司さん
朝比奈 つとむさん
熊谷 行子さん
小笠原 克哉さん
関上 基広さん

上げました。音楽やダンスなどの分野で活動する若者を応援する、イベントを開催しています。

■小笠原 妻の転勤のタイミングで久慈に移住。演劇に関わるきっかけは、妻の仕事の関係であーとびる麦生の活動を手伝うところからだったと思います。そこからおらほーる劇場につながり、最初は前職の経験を生かし小道具、大道具やセット作りをしていました。役者としても2度出演し、現在は演出を担当しています。

■熊谷 15年前、久慈の町が寂しくなっていると感じ、ギャラリーをやりたいと思い立ちました。絵のことが分からず、施設の運営については全くの素人だったので、いろいろな人に相談。麦生の学校が閉校となることを聞き、訪れると木のきれいな廊下に魅力を感じました。当時の市長にダメもとで直談判し、貸してもらえ、全国の知り合いの作家さんに、作品を寄付してほしいと200通以上手紙を送

芸術でまちの 雰囲気が変わる

久慈で活動を 始めた理由

■遠藤市長 新年あけましておめでとうございます。久慈を子どもからお年寄りまで笑顔あふれる町にしていきたいと思っています。そのため、人とのつながりや生活の中で気持ちに余裕を持つことが大切です。

心の栄養が大事であり、芸術活動は人や地域との結びつきを強め、地域づくりにつながってくるものと確信しております。

■山下 久慈の地域おこし協力隊に応募するきっかけになったのは、旅行でたまに立ち寄ったことです。駅から近い巽山公園を訪れると、子どもたちが笑顔で遊んでいるところだなという印象を持ちました。商店街には写真を飾っている休憩所があり、このような取り組みをしているまちは芸術や文化に理解があると思います、応募しました。

■市長 あーとびる麦生のような施設は滅多にないと思います。廃校を活用し、熊谷さんを中心にボランティアが協力して運営している。他にはないすばらしい施設です。



えんどう じょうじ
遠藤 譲一市長



あさひな
朝比奈 つとむさん

地域おこし協力隊。一関市出身。山根にアトリエを構え、アート活動に取り組む。

アートで仲間と 山根を盛り上げたい

久慈はもともと絵画や芝居などの文化があまりないまちだったので、皆さんが活動していることでまちの雰囲気が変わってきていると思います。これくらいの人口規模の中で、これまであまりなかった新しい分野で活動する事は注目されるし、影響が大きい。皆さんの活動を通して、市民の芸術や文化への関心が高まっていけばいいと思います。久慈には何もないという否定的な話もあります。こうして久慈で芸術分野で活動している皆さんの存在はすごく大きいです。



久慈には何もないという否定的な話もあります。こうして久慈で芸術分野で活動している皆さんの存在はすごく大きいです。

